

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
看護技術強化演習	BNNSS8E19	30209	4後	1(45)	必修	
担当教員	久留島実姫(基礎看護学)、和田恵美子(地域在宅支援論)、井上 深幸(老年看護学) 千葉 陽子(母性看護学)、堀井 理司(小児看護学) 田口 豊恵(急性期・周術期看護論)、岡本 杏華(生活行動回復看護論) 中島 優子(慢性期・終末期看護論)、三林 聖司(精神看護学) (科目統括:千葉陽子)					
概要	卒業前に「臨地実習において看護学生が行う基本的な看護技術の水準」および「看護師に求められる看護実践能力と卒業時の到達目標」を達成するために、各領域の基本的看護技術、およびそれに伴う知識やアセスメントの要点を再確認する。					
学修目標	1) 既習の看護技術の要点を再認識できる。 2) 患者に安全・安楽な看護技術を提供するために必要な知識・技術を再確認できる。 3) 事例に応じて具体的にアセスメントを展開し、看護援助を提供することができる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
学修内容			予習・復習内容			
【授業計画】 1) 各領域で特徴的な事例が提示される。 2) 学生は事例の看護過程を展開し、看護計画を立案する。 3) 事例に関連した基本的知識やアセスメントの方向性、看護計画の内容を教員とともに確認する。 4) 計画に基づいて、模擬患者に看護援助を提供する。 5) 教員は学生の看護援助技術を評価する。 * 授業展開方法は領域の特徴に応じて異なることがある。			授業開始までに国家試験の過去問題にあたって各領域の要点の学習を行っておくこと。			
使用テキスト	適宜紹介する。					
参考図書	適宜紹介する。					
成績評価基準	定期試験100%					